

平成29年度 徳島県相談支援専門員協会事業報告

■総括

平成29年度も当協会では、法の理念に基づき障がい者を有する人が地域社会の構成員として普通に暮らせる地域づくり、『共生社会の実現』を目指してケアマネジメント実践およびそれに対応する地域支援体制の構築に取り組みました。

相談支援事業の位置づけは、常にその中核をなす存在として対応範囲は広く、活動内容も非常に多岐に及んでいます。『望む暮らしの実現』と『自己決定』を支える支援姿勢を堅持しつつ、時代に沿った支援の在り方も模索しながら、対人援助の専門機関としてライフステージの重要な分野への支援にも関わってきました。

相談支援の専門性・優位性としては、支援を必要とする人に最後まで寄り添い、付き合うことが出来ることにあります。他方、幅広い障がい種別への対応や年齢の差異、価値観の異なる世代との向き合いはジレンマに陥ったり、疲労感・挫折感を味わうことがあるのも事実です。

協会としては、これらの課題解決や支援体制の充実が図れるよう、相談支援に必要な方法論やスキルアップを高めるための育成研修、各種講演会の開催、資質向上を目指した目的別研修等計画してきました。

世の中が高度にシステム化され、生活様式や価値観が随分と様変わりした現在にあっても、アナログ的で温もりがあり、きめ細かな対人支援や明るい生活応援の実践を『我ごと・丸ごと』に代表される地域一体型の体制づくりと、画一的でなく「人」と「人」をつなぐやさしい地域づくりを目指して取り組みを行ってきたところです。

相談支援事業は、個別支援と地域づくりを両輪とするソーシャルワークを基本として展開してきましたが、相談支援専門員はその実践者であり、今後も基本相談を核とした個別支援と、地域づくりの両輪で活動を行っていく事が求められています。

相談支援専門員の活動の成果や課題を蓄積することは、地域の福祉力向上や支援体制構築のために重要な事項です。これらの情報や結果を自立支援協議会にフィードバックし、研修や人材育成の取り組みに活用することはとても重要と考えます。

一人ひとりの輝く命と笑顔を原動力にして県下における牽引役をこなし、時にスキル向上の起爆剤として、また、全体を協調と連携に導く柔軟剤としてのスタイル形成に努めてきました。

相談支援専門員の基本原則は、対象者の内在的価値と尊厳の尊重、文化的信念や、価値感において危害を加えないこと、多様性の尊重、権利擁護と社会正義の支持であり、互恵的な関係を確立することに重きを置いて活動を展開してきました。

今後も、協会運営の中で培ってきた、利用者ニーズに添う柔軟かつ専門的な支援を継続的に実践し、住み慣れた地域で『望む暮らしの実現』と『安心で自立した生活』を可能とするためのサポート機関として、身近な存在で有用な役割を担って参る所存です。

1、日本相談支援専門員協会との連携と協力

熊本地震の際の協力・援助の実施連携や、今後の協会のあり方についての検討をブロックを通じて意見交換等を行うなどし、連携に努めました。

2、平成29年度受託研修会等の企画・実施

①平成29年度 徳島県障がい者虐待防止・権利擁護事業の開催実施

県より下記の研修事業について、委託実施についての協力依頼があり、本協会が企画運営し、共同開催により実施しました。

日 時：平成29年12月15日（金） 9 時 00 分～16 時 00 分

場 所：徳島県立総合教育センター ホール・大研修室 他

参加者：206名（内スタッフ6名）

内 容

<共通講義>

①「障がい者虐待防止法について」／徳島県障がい福祉課企画担当

②「障害者虐待防止法の理解と虐待事案について 2017」

毎日新聞論説員 野澤 和弘 氏

<分野別講義>

ア) 権利擁護センター・市町村・虐待防止センター担当者コース

「障がい者虐待における自治体の取組・対応方法」

イ) 障害者福祉施設管理者・虐待防止マネージャーコース

「組織的な虐待防止への取組と一人一人の意識改革の強化」

【概要】

① 厚生労働省実施の障害者虐待防止・権利擁護指導養成研修の報告

② 「施設・事業所伝達研修用冊子」を活用する（演習）

③ 施設・事業所における虐待防止研修の進め方（講義）

3、独自の研修会等の企画・実施

①総会の参加者を対象とした研修会の実施

会場	開催日	研修テーマ
板野町 総合教育センター	平成29年 6 月 17 日（土） 14 時 00 分～15 時 30 分	「福祉と教育をつなぐ相談支援」 講 師 徳島文理大学 保健福祉学部 人間福祉学科 島 治伸 教授 氏

②徳島県相談支援専門員及びサービス管理責任者を対象にスキルアップ研修会の実施

会場	開催日	研修テーマ
石井町 中央公民館	平成 30 年 2 月 3 日(土) 13 時 00 分～16 時 00 分	第1部13:00～14:30 「どう作ればいいか？地域生活支援拠点等整備と基幹相談支援センター ～その整備の方法と基本的役割～」 第2部14:45～16:00 「何がどう変わる？平成 30 年度障害福祉サービス等報酬改定」 その改定内容と基本的な方向性～」 講 師 大平 真太郎氏 (厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 地域生活支援推進室 相談支援専門官)

③事業所内虐待防止研修の企画・実施

県内障害福祉サービス事業所より依頼を受け、障害者虐待防止研修を実施した。

※協会より 2 名派遣し実施

4、四国ブロック(四国4県)との連携強化のための会議の開催

四国 4 県の県担当者や相談支援専門員協会等との相互の交流を通じて、相談支援の充実が図れるよう意見交換等を行いました。

◆平成29年度 第1回四国ブロック障害者相談支援関係者会議

日 時:平成 29 年 11 月 19日(日)13:00～16:00

場 所:霧の森 交湯～館 研修室

参加者:県参加者・堀本代表・田岡監事・事務局(川島)

議 題:1 現状報告

各県における相談支援関係基礎情報及び平成 29 年度の研修予定

2 協議事項

- ①第 5 期障害福祉計画の策定
- ②地域生活支援拠点の整備状況
- ③基幹相談支援センターの整備状況

3 その他

5、役員会・総会の実施

本協会の運営のあり方や活動方針についての協議を行うため理事会の開催や、各種受託研修等の検討のため役員会を実施しました。

①第1回役員会・総会の実施

日 時:平成 29 年6月 17 日(土)12:00～

場 所:板野町 総合教育センター

議 事:平成 28 年度事業報告(案)・決算について
平成 29 年度事業計画(案)・予算について

③第2回役員会の実施

日 時:平成 30 年 2 月 3 日(土) 19:00～

場 所:徳島市

議 事:今年度の活動振り返り及び次期への活動計画(案)について

6、その他

①バリフリ BOX2017 への協賛と会場相談コーナー設置について

平成 29 年 12 月 10、11 日 ひのみね支援学校体育館

④会員数

会員数は下記のとおりです。

年度	正会員数	昨年度対数
平成 29 年度	63	+ 7